

事業コード	H20-建-継-02		区 分	国庫補助 県単独
事業名	地方街路交付金事業		部局課室名	建設交通部 都市計画課
事業種別	一種改築(現道拡幅)		班 名	市街地整備・街路・公園 (tel) 018-860-2444
路線名等	都市計画道路 新屋土崎線		担当課長名	村木 幹夫
箇所名	秋田市山王		担当者名	主幹(兼)班長 佐々木 均
総合計画との関連	政策コード	C	政策名	快適で安全な生活を支える環境づくり
	施策コード	02	施策名	街なか活性化による賑わいの再生
	指標コード	04	施策目標(指標)名	都市計画道路整備率

1. 事業の概要

事業期間	H16 ~ H24 (9年)		総事業費	52.6億円	国庫補助率	0.55	
事業規模	延長L=980m 幅員W=18.75(26.5)m						
事業の立案に至る背景	本路線は、秋田市の南北軸を形成する骨格道路であり、都心部と重要港湾や秋田自動車道秋田北ICを結ぶ主要放射道路である。このうち、秋田駅八橋線との交差点である山王交差点は新屋土崎線の容量不足から生じる主要渋滞ポイントであることから、当該区間を拡幅し、渋滞の緩和を図るものである。						
事業目的	交通混雑の緩和(主要渋滞ポイントの解消) 市町村合併支援 主要放射道路の整備 歩道のバリアフリー化						
事業費内訳 事業内容 (単位:千円)		計 画 時	評 価 時	増 減	理 由 等		
	事業費	5,156,000	5,256,000	100,000			
	経費内訳	工事費	1,345,000	1,746,000	401,000	電線共同溝の収納本数の増加	
		用補費	3,600,000	3,196,000	-404,000	用地補償費の減	
		その他	211,000	314,000	103,000		
	財源内訳	国庫補助	2,478,300	2,051,400	-426,900		
		県債	2,218,000	2,704,000	486,000		
その他		309,360	315,360	6,000			
一般財源	150,340	185,240	34,900				
事業内容	調査設計 用地補償 街築工	調査設計 用地補償 街築工					
事業の進捗状況	用地買収、移転補償が難航し、計画より遅れている。						
事業推進上の課題	事業中の川尻広面線(寺町工区)の供用にあわせることで道路ネットワークとして一層の効果を発揮する。						
関連する計画等	あきた21総合計画の施策「快適で安全な生活を支える環境づくり」に位置付けられている。秋田都市計画区域マスタープランにおいて概ね10年以内に整備を予定する施設に位置付け。街路事業「川尻広面線」(事業中)						
情勢の変化及び長期継続の理由	秋田市中心部へのアクセス道路であり合併支援道路に位置付けられているが、山王交差点が主要渋滞ポイントとなっている。						
事業効率把握の手法及び効果	指標名	都市計画道路整備率					
	指標式	= 整備済み延長 / 都市計画決定延長					
	指標の種類	成果指標	業績指標	低減指標の有無	有 無		
	目標値 a	56 %		データ等の出典	都市計画年報		
	実績値 b	48 %					
達成率 b/a	85.7 %		把握の時期	平成19年3月			

前回評価結果等	選定または継続 改善 見直し 保留または中止
	指摘事項
	特になし。
	指摘事項への対応
	特になし。

2. 所管課の自己評価

観 点	評 価 の 内 容 (特 記 事 項)	評 価 点
必 要 性	秋田市内の都市の骨格を構成する重要路線である為、早期に慢性的な渋滞解消が必要である。 主要放射道路であるほか、第2次緊急輸送道路の指定路線でもあり、防災計画上の重要路線であることから他に機能が競合する路線は存在しない。 山王十字路以北は4車線化済みであり、当該区間がボトルネックとなっている。	26点
緊 急 性	「あきた21総合計画」における快適で安全な生活を支える環境づくりに資する事業であるほか、「秋田都市計画区域マスタープラン」の中でも概ね10年以内に整備すべき路線として位置付けられている。 市町村合併支援道路の指定を受けている。 山王交差点は主要渋滞ポイントとなっており、早急な整備が求められている。	12点
有 効 性	秋田市の南北軸を形成する幹線道路であり、交通量も多いことから有効性は高い。 無電柱化推進計画に位置付けられており、拡幅と共に電線類を地中化することで歩行者空間の快適性を向上させる。 歩道のバリアフリー化により高齢者や障害者の通行の安全性を向上させる。	15点
効 率 性	事業の費用便益は2.18であり効率性は高い。 ・総費用の現在価値 53億円 ・総便益の現在価値116億円 計画交通量は10,000台/日以上と大きい。 暫定施工による事業費の縮減。 現道の路盤を極力活用すること等でコストの縮減を図る。	20点
熟 度	山王十字路北側は4車線で完成供用している。 山王十字路南側も用地補償に着手しており、建物の除却も進んでいる。 接続する川尻広面線と併せて整備することでネットワークとしてより一層の効果を発揮する。	12点
判 定	ランク () 渋滞の緩和に資するほか、救急医療施設へのアクセス道路・市町村合併支援道路にも位置付けられており、必要性・有効性が高いことから引き続き実施すべき事業である。	85点
総 合 評 価	継続 改善して継続 見直し 中止 事業継続は妥当である。	

3. 評価結果の当該事業への反映状況等(対応方針)

引き続きコスト縮減に留意しながら事業を継続する。

4. 公共事業評価専門委員会意見

県の対応方針を可とする。

評価種別 継続箇所評価
適用基準名 街路事業

事業コード(H20-建-継-02)
箇所名 (秋田市山王)

1. 評価内訳

観点	評価項目 細別	評価基準	配点	評価点	摘要		
必要性	都市計画道路の規模・機能 道路の規模及び分類	主要幹線街路・都市高速道路 幹線街路 補助幹線街路 上記以外の補助幹線街路など	5 4 3 0	5	4車線以上かつ幅20m以上 2車線以上かつ幅16m以上 2車線かつ幅12m以上		
	都市構造上の機能	高速交通拠点と連絡する道路・都心軸道路 放射環状道路 都心軸を補完する道路 その他の道路	5 4 2 0			4	
	現況道路における問題箇所						
	交通容量不足(現況混雑度1.0以上)	有り なし	2 0	2	2	バイパス、新設路線については、競合する路線を 現況道路とみなす	
	主要渋滞ポイント	有り なし	2 0				
	狭隘道路(車道幅5.5m未満)	有り なし	2 0	0	0		
	線形不良・勾配不良 (道路構造令の基準に達しない道路)	有り なし	2 0				
	バス路線	有り なし	2 0	2	2		
	歩行者、自転車の交通量が比較的多い道 (自転車歩行者交通量500人・台以上)	有り なし	2 0				
	歩道や自歩道が無い道路 (規定幅員が確保されていない場合を含む 人身事故発生と地点)	有り なし	2 0	0	0		
	老朽橋梁	有り なし	2 0				
	通学路指定	有り なし	2 0	2	2		
	交通状況の変化						
	現況道路の交通量変動 (自動車・歩行者・自転車交通量)	増加 減少	5 0	5	5		
	計		35			26	
	緊急性	関連事業の有無					
		各種プロジェクト支援(県の主要プロジェクト・地域振興プロジェクト)	有り なし	1 0	1		
		大規模イベント支援 国体・インターハイ・万博など	有り なし	1 0			
		公共公益施設アクセス 市町村役場・病院・学校・公民館など	有り なし	1 0	1	1	
		他公共事業関連 (街路事業以外の事業支援)	有り なし	1 0			
		住宅地開発 (300戸以上又は16ha以上の連絡道路)	有り なし	1 0	0	0	
		隣接区間の整備状況					
		隣接区間の整備状況	整備済み 未整備	5 0	5	5	
防災機能向上への貢献度							
・緊急輸送路又は代替路線 ・災害避難路 ・消防活動困難地域の解消路線 ・無電柱化計画		該当項目2以上 該当項目1 該当項目0	5 3 0	5	5		
計			15			12	
有効性	物流の高度化と交流の円滑化への貢献度						
	・高速ICアクセス ・港湾・空港アクセス ・新幹線駅又は特急停車駅等()への 特急停車駅又は平均乗降客2000人/日 ・主要な観光地へのアクセス ・駅前広場の造成 ・広域道路整備計画	該当項目2以上 該当項目1 該当項目0	5 3 0	5			
	市街地の活性化とまちづくりへの貢献度						
	・DID区域内の事業 ・市街地再開発・区画整理等との連携 ・無電柱化計画 ・景観や中心市街地の特色あるまちづくりに資する事業 ・歩行者空間の確保	該当項目2以上 該当項目1 該当項目0	5 3 0	5	5		
	安全で快適な生活環境への貢献度						
	・バリアフリー ・二次・三次医療施設へのアクセス ・消・融雪施設の整備 ・堆雪幅の確保 ・道路緑化の推進	該当項目2以上 該当項目1 該当項目0	5 3 0	5	5		
	計		15			15	

評価種別 継続箇所評価
適用基準名 街路事業

事業コード (H20-建-継-02)
箇所名 (秋田市山王)

1. 評価内訳

観点	評価項目 細別	評価基準	配点	評価点	摘要	
効率性	費用便益比 (B / C)	1.0 以上	5	5		
	費用便益比 (B / C)	1.0 未満	0			
	計画交通量					
	計画交通量	10,000台 / 日以上	5	5		
		4,000台 / 日以上10,000台 / 日未満	3			
		1,000台 / 日以上4,000台 / 日未満	2			
		1,000台 / 日未満	0			
	コスト縮減・リサイクル推進貢献度					
	・廃棄物の発生抑制, 再資源化, 適正処理	該当項目 2 以上	5	5		
	・リサイクル製品、再生骨材等の使用	該当項目 1	3			
・新工法・新技術の採用	該当項目 0	0				
・その他 (具体的事例)						
事業中止又は休止による影響						
事業中止・休止した場合の成果に対する影響	代替手段がなく、影響が大きい	5	5			
	代替手段はあるが、影響が大きい	3				
	代替手段はあり、影響が小さい	0				
	計		20	20		
熟度	都市計画事業認可に対する事業の進捗状況					
	事業の進捗	8 割以上完了	10	8		
		5 割以上完了	8			
		1 割以上完了	5			
		1 割未満	2			
	地域の協力体制					
	・事業推進のための各種協議会等が設置されている	該当項目 3 以上	5	4	同盟会, 協議会, 連絡会議等各種説明会の出席率が高い	
	・地域住民の取り組みが積極的である	該当項目 2	4			
	・市町村自ら積極的に用地交渉など事業推進に寄与している	該当項目 1	3			
	・買い取り請求が複数ある	該当項目 0	0			
・裁判申請 (予定を含む) 物件がない						
・都市計画法第 6 8 条による						
	計		15	12		
合計			100	85		

2. 判定

ランク	判定内容	配点	判定	摘要
	優先度がかなり高い	80 点以上		
	優先度が高い	60 点以上 ~ 80 点未満		
	優先度が低い	60 点未満		